

6月16日～19日の4日間にわたって一般質問

西山 実議員 6月16日(火)4番目



- ①高齢者を狙った消費者被害を防止するための対策の強化を
- ②部活動・遠征等に伴う交通安全対策について
- ③市道・公園等の樹木の適切な維持管理を
- ④地下道アンダーパスの管理強化を
- ⑤アスベスト飛散防止対策の強化について

岡田重美議員 6月16日(火)6番目



- ①青土ダム駐車場のトイレ改修について
- ②産廃処分場計画地における地すべりの危険性について
- ③外部委託事業、甲賀・湖南権利擁護支援センターぱんじーの体制強化について
- ④市営住宅におけるエアコン未設置世帯へのエアコン設置について

山岡光広議員 6月17日(水)2番目



- ①イラン情勢が緊迫化する中で石油由来の製品が逼迫・値上がりするなどの影響への緊急対策について
- ②学童保育・児童クラブの充実を求めて
- ③信楽地域の小学校統合とその対応について
- ④不登校対策と「学びの多様化学校」について
- ⑤教員の長時間労働の是正について

市議会議員定数・議員報酬について議員アンケート実施

甲賀市議会議会改革推進特別委員会

甲賀市議会議会改革推進特別委員会では、議会基本条例の検証をはじめ議会改革に取り組んでいます。

令和6年、7年度は議員全員の参加により、議会基本条例の

検証を行いました。

今年度からは、議員定数、議員報酬について検討を行います。その一環として、議員全員に定数と報酬に対するアンケートを実施しました。アンケート

結果をふまえて検討を進め、9年の秋頃を用途に方向性を具体化する予定です。検討にあたっては、議員定数と議員報酬はセットではなく、別個のものとして議論することが重要です。

滋賀から変えよう！ 9条守り暮らし第一の県政へ

6月18日告示、7月5日投票の知事選に向けて、5月29日「明るい滋賀県政をつくる会」スタート集会が開催され、坪田いくお氏は「憲法9条を守り、暮らし第一の憲法を生かした県政に変えよう」と訴えました。

坪田氏は5月27日に発表した自身の政策「滋賀から変える二つのチェンジと五つの提案」を説明。

一つ目の提案では、「物価高を乗り越える賃上げが必要で、政治ができることは最低賃金の引き上げだ。中小企業に賃上げの補助金を出し、最賃審議会に働きか

けたい」と力を込めました。

二つ目は、三日月県政が全国で初めて導入しようとしている「交通税」について反対を主張し、「県の予算は増えているが、公共交通のための予算は減ってきている。予算を増やし充実させたい」と訴えました。「交通税」について三日月知事は政策のなかで「みんなの移動を考え、暮らしを豊かにするための財源確保」としていますが、すべての県民に対し負担を強いるものであり、パブリックコメントでも多くの反対意見が寄せられました。

三つ目は、大企業優遇、大型開発優先の一方で、削られている教育予算を大幅に増やし、学校体育館にエアコン、特別支援学校の新築を進める、四つ目は、公立病院を守り、誰でもどこでも安心の医療を受けられるよう地域医療を守ると述べました。

五つ目は、県内どこに行っても高市政権に対する批判や、「戦争を終わらせてほしい」「9条守れ」の声が沸き起こっている。国民的大運動のなかで戦われる知事選挙、憲法を守る政治へと滋賀から変えよう」と訴えました。



日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2026年 6月14日 第586号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044